

長岡宮跡

ながおがきゅうあと



長岡宮へタイムスリップ♪

大極殿祭

大極殿祭は、桓武天皇が平城京から長岡京に遷都した記念日である11月11日に、大極殿公園で行われる祭典です。公園にある大極殿石碑の前に祭壇が作られ、神事が行われます。また、雅楽、巫女さんの舞も披露されます。この日ばかりは、和やかな公園はいつもと違ってかわり、厳かな雰囲気になります。



公園は桜の名所としても有名なんだ。

場所は「向日市の文化遺産①」のMAPに載ってるよ。

見学施設

- 向日市文化資料館 10:00～18:00(入館17:30まで)
向日市寺戸町南垣内40-1 ◆TEL.075-931-1182
 - 史跡長岡宮内裏跡・国登録有形文化財旧上田家住宅 9:30～16:30
向日市鶏冠井町東井戸64-2 ◆TEL.075-874-1023
- いずれも入館無料 休館日/月曜日(休日の場合は直後の平日)・毎月1日(土・日・月の場合は次の平日)・年末年始(12/28～1/4) 休館日のお問い合わせは各施設まで



発行 向日市教育委員会

〒617-8665 京都府向日市寺戸町中野20番地 TEL.075-931-1111

Q 長岡宮の中で、
どんなことをやっていたんだ?

A 長岡宮は国家の政治を行うところだよ。天皇の行事や儀式、外国からのお客さんの歓迎の儀式を行うこともあったんだ。



▲政治を行う施設のひとつ、「大極殿」の跡地。史跡は公園として保存されています。

Q じゃあ現代の国会みたいな施設があったのかな?

A うん、現代にたとえると、国会議事堂の他に露ヶ閑の役所、天皇や皇后、皇太子たちの住まいもあったんだ。長岡京にとって、とても重要な場所だったことがわかるよ。



▲重要な宮殿の建物は、中国の都・長安を手本に作られました。

Q ぶーん、そんなすごい場所
なんだから位の高い人だけしか
出入り出来なかったらどう?

A そうでもないよ。貴族である高級役人が150人、その下に行政の実務をする人が600人。さらにはその下には、位の低い下級役人や、日雇いで雑務をする人々が7000人いたといわれているよ。

高級役人(貴族)
行政実務者
下級役人
日雇いの労働者



宮内で働く人の割合

意外と位の低い人が
圧倒的...

長岡宮って何？

784年(延暦3)11月～794年(延暦13)10月までの約10年間、長岡京という都が首都として栄えました。長岡宮は、都の北端の皇居(内裏)や国会議事堂(大極殿、朝堂院)、二官八省の役所がおかれた重要な宮殿のある区画です。

長岡宮は向日神社のある丘「長岡」の斜面を「ひな段」状に削ったり盛ったりしてつくられたんだ。



イラスト/早川和子



DATA
 大きさ:東西1.1km
 南北1.6km
 現在の向日市、長岡京市に位置します。



これは醸造用の甕に納めるお米の整理札なんだって。

▲長岡宮内の大蔵(※)で使用された木簡。紙の代用品として、政務でも大活躍。(※)大蔵:税を保管する役所



▲平城京から運ばれてきた鬼瓦。宮内の主な施設の資材は、昔の都(大阪:難波宮、奈良:平城京)のものを再利用しました。



▲政務で使用された硯。役人(は)刀筆の「史」といわれ、小刀、筆、硯は必需品でした。

長岡宮の足跡

長岡宮の跡は今も向日市に残っています。宮内の様子を想像しながら、史跡めぐりをしてみましょう。



イラスト/早川和子

大極殿跡 (史跡大極殿公園)

大極殿は、瓦葺きで礎石に朱ぬりの柱が立つ宮内で最も立派な建物です。政務や儀式の際、天皇が出御する場でした。元日には前庭にのぼり旗(宝幢)が立てられ、華やかな儀式を演じました。現地にはその柱が復元されています。

北側にある「後殿」は天皇が大極殿に出御するときの「控えの間」なんだ。

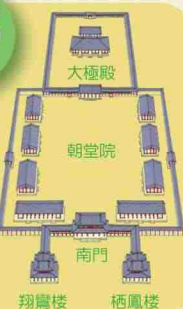


イラスト/早川和子

朝堂院西第四堂跡・南門跡・翔鸞楼跡 (史跡朝堂院公園)

朝堂院は、今の国会議事堂のような施設です。東西に四堂ずつ、計八堂からなっています。親王や大臣、役所の長官が座り、中庭で政務を行いました。南門に楼閣が2つある、荘厳なつくりでした。

大極殿と朝堂院の復元図



大蔵跡 (西山高校)

西山高校で発見された倉庫、池、石組溝の跡。大蔵とは、全国から税として納められた物を保管する場所、国の金庫です。



西山高校内に解説板があるの。許可をどって見せてもらってね。



内裏内郭築地回廊跡

内裏とは天皇と皇后、后たちの住まいで、現在の皇居にあたります。その周りの塀の両側に屋根をかけて通路にする内裏特有の塀の構造でした。



「内裏公園」で内裏の北西隅の塀の位置が確認できるよ。

春宮坊跡 (かしの木公園)

春宮坊とは、皇太子の生活を支えた役所です。ここから役所で使用した食器や皇太子の身の回りのものが出土しています。また、大量の木簡が出土していることでも有名です。



築地跡

幅2.1m、推定高4.5mの瓦葺きの土塀跡です。その立派さから宮殿の東を囲む塀(大垣)ともいわれます。



イラスト/早川和子

土で作った塀のことだよ。

